

**ライフジャケット着用の普及促進に関する研究**  
**-逗子海水浴場のライフジャケットレンタルステーションを対象として-**  
**Research on promoting the use of life jackets**  
**-For life jacket rental stations at Zushi Beach-**

○今江啓太<sup>1</sup>, 桜井慎一<sup>2</sup> 寺口敬秀<sup>2</sup>, 五江渕佑馬<sup>3</sup>

\*Keita Imae<sup>1</sup>, Shin-ichi Sakurai<sup>2</sup>, Takahide Terakuchi<sup>2</sup>, Yuma Goebuchi<sup>3</sup>

In this study, we focus on the life jacket rental station operated by the Marine Sports Foundation, grasp the current penetration rate of life jacket rental at the beach, and increase the penetration rate of wearing life jackets at the waterside in the future. The purpose of this paper is to show the issues to be solved.

**1. 研究背景および目的**

海水浴場での救助事例は毎年 2000 件～3000 件が報告されている。海水浴客は年々減少傾向であるが、海での死亡事故は横ばいで毎年約 700 件起きている。対策としては、ライフジャケットの着用が重要であり、ライフジャケット着用者の生存率は 9 割、非着用者の生存率は 4 割といわれている<sup>[1]</sup>。

そこで、本研究では、公益財団法人マリンスポーツ財団が行っているライフジャケットレンタルステーション（以下、レンタルステーション）の取り組みに着目し、海水浴場でのレンタルライフジャケット利用者の実態を把握し、ライフジャケット着用者の普及促進に向けての課題点を検討することを目的とする。

**2. 研究方法**

公益財団法人マリンスポーツ財団が取り組んでいる全国 20 ヶ所のレンタルステーションのうち、逗子海水浴場の利用者を対象に、対面式アンケート調査を実施した（表-1）。

**3. 結果および考察**

調査結果を表-2, 3 に示す。

**3-1. 利用者の年齢層**

レンタルステーションは無料でライフジャケットの貸し出しをおこなっている。逗子海水浴場では、ライフジャケットを約 130 着用意し、高校生までを貸し出し対象としている。調査期間のレンタルステーションの利用者は 1 歳～12 歳までで、最も多い年齢層は「1-b:4 歳～6 歳」（40.2%）であった。最も少ない年齢層は「1-a:1 歳～3 歳」（9.8%）であり、幼児用のライフジャケットも用意されていたが、幼児の利用者は少なかった。

**3-2. ライフジャケットを借りようと思った理由**

『問2:ライフジャケットを借りようと思った理由』では、最も多い回答となったのが「2-a:安全のため」（87.5%）であり、次いで多かったのが「2-g:無料で借り

表-1 調査概要

調査地	逗子海水浴場
調査期間	2022年8月10日(水), 8月21日(日), 8月29日(月)
天候 (最高/最低 気温, 波高, 風速)	10日晴 (最高33.4℃/最低27.5℃) 波高1.1m, 風速9.7m 21日曇時々雨 (最高29.6℃/最低24.9℃) 波高0.9m, 風速1.6m 29日曇時々晴 (最高26.9℃/最低21.1℃) 波高2.1m, 風速3.3m
調査方法	調査員による対面式アンケート調査
調査対象	ライフジャケットレンタルステーションの利用者
調査内容	利用者の年齢, ライフジャケットの着用について, ライフジャケットレンタルステーションについてなど
有効回答数	48グループ(92人)

表-2 アンケート結果①

質問	回答率
<b>問1: ライフジャケットレンタルステーションの利用者の年齢</b>	
1-a: 1歳～3歳	9.8% ( 9/92)
1-b: 4歳～6歳	40.2% ( 37/92)
1-c: 7歳～9歳	33.7% ( 31/92)
1-c: 10歳～12歳	16.3% ( 15/92)
<b>問2: ライフジャケットを借りようと思った理由 (複数回答)</b>	
2-a: 安全のため	87.5% (42/48)
2-b: 泳ぎが苦手のため	8.3% ( 4/48)
2-c: 波が高いため	20.8% (10/48)
2-d: 人が多く子供を見失う心配があるため	2.1% ( 1/48)
2-e: 周りの人が着用していたため	8.3% ( 4/48)
2-f: 係員から着用を勧められた	2.1% ( 1/48)
2-g: 無料で借りれるため	52.1% (25/48)
2-h: その他	2.1% ( 1/48)
<b>問3: ライフジャケットの正しい着用方法は知っていたか</b>	
3-a: 知っていた	50.0% (24/48)
3-b: 教えてもらった	50.0% (24/48)
3-c: 分からないまま着用していた	0% ( 0/48)
<b>問4: 子供がライフジャケットを着た時の反応</b>	
4-a: 不満なく着用した	91.6% (44/48)
4-b: 最初だけ嫌がっていた	6.3% ( 3/48)
4-c: 途中で嫌がるようになった	2.1% ( 1/48)
4-d: 常に嫌がっていた	0% ( 0/48)
<b>問5: ライフジャケットをどのような場面で着用していたか</b>	
5-a: 常に着用していた	52.1% (25/48)
5-b: 海に入る時に毎回着用していた	37.5% (18/48)
5-c: 海に入る時に何度か着用した	10.4% ( 5/48)
5-d: ほとんど着用しなかった	0% ( 0/48)

れるため」（52.1%）だった。「2-c:波が高いため」（20.8%）の回答の全ては8月10日の調査日であった。その日は風が強かったため、流されやすく、安全の理由としてライフジャケットを借りる人が増えたと考えられる。

1 : 日大理工・学部・海建 2 : 日大理工・教員・海建 3 : 日大理工・院(前)・海建

### 3-3. ライフジャケット着用方法の理解

『問3:ライフジャケットの正しい着用方法は知っていたか』では、「3-a:知っていた」(50%),「3-b:教えてもらった」(50%)であった。着用方法が分からない人には、ライフセイバーが教えていた。

### 3-4. ライフジャケットを着た際の子供の反応

『問4:子供がライフジャケットを着用した時の反応はどうだったか』では、ほとんどが「4-a:不満なく着用した」(91.6%)と回答した。よって、子供はライフジャケットを着用することにあまり抵抗がないことがわかった。また、『問5:ライフジャケットをどのような場面で着用していたか』では、「5-a:常に着用していた」(52.1%),「5-b:海に入る時に毎回着用していた」(37.5%)であり、遊泳中に利用者のほとんどはライフジャケットを着用していた。

### 3-5. ライフジャケットのレンタル料について

『問6-1:レンタルステーションを今後も利用したいか』では、全てのグループが「はい」と答えた。しかし、『問6-2:ライフジャケットのレンタルが有料だった場合利用したいか』では、「6-2-a:はい」(68.8%)だった。「6-2-a:はい」と回答したグループに『問6-3:ライフジャケットのレンタル料が有料だった場合何円までなら払えるか』と聞いたところ、最も多い回答が「6-3-c:300円」(63.6%)であった。500円を超える回答はなく、ライフジャケットの貸し出しは500円を超えなければ、有料でも着用の促進に繋がるだろう。

### 3-6. ライフジャケットの購入について

『問7-1:今後ライフジャケットを購入したいか』では、「7-1-a:購入したいと思う」(58.3%),「7-1-b:購入したいと思わない」(42.7%)であった。また「7-1-a:購入したいと思う」と回答したグループに『問7-2:ライフジャケット1着あたりいくらまでなら購入したいと思うか』と聞いたところ、最も多い回答は「7-2-c:3000円」(53.6%)であり、次いで多かったのが「7-2-e:5000円」(35.7%)だった。子供サイズの国土交通省認定の桜マークがあるライフジャケットは、メーカーにもよるが平均で5000円するのでライフジャケットの有効性、安全性をPRすれば、個人所有の促進に繋がると考えられる。『問7-3:ライフジャケットを購入したいと思わない理由』では、最も多かったのが、「7-3-b:使用する機会が少ないため」(90.0%)であった。一年に数回しかライフジャケットを着用しないため、購入までにはいたらないことが考えられる。

### 3-7. 海水浴場以外でのライフジャケットの着用

『問8:ライフジャケットは海水浴用以外に釣り用や

表-3 アンケート結果②

質問	回答率
問6-1:今後も利用したいか	
6-1-a:はい	100%(48/48)
6-1-b:いいえ	0%(0/48)
6-1-c:どちらともいえない	0%(0/48)
問6-2:レンタルが有料だった場合利用したいか	
6-2-a:はい	68.8%(33/48)
6-2-b:いいえ	27.1%(13/48)
6-2-c:わからない	6.3%(3/48)
問6-3:レンタルが有料だった場合何円まで払えるか	
6-3-a:100円	3.0%(1/33)
6-3-b:200円	3.0%(1/33)
6-3-c:300円	63.6%(21/33)
6-4-d:400円	6.1%(2/33)
6-5-e:500円	24.2%(8/33)
6-6-f:1000円	0%(0/33)
問7-1:今後ライフジャケットを購入したいか	
7-1-a:購入したいと思う	58.3%(28/48)
7-1-b:購入したいと思わない	42.7%(20/48)
問7-2:1着あたりいくらまで購入したいと思うか	
7-2-a:1000円	7.1%(2/28)
7-2-b:2000円	0%(0/28)
7-2-c:3000円	53.5%(15/28)
7-2-d:4000円	7.1%(2/28)
7-2-e:5000円	35.7%(10/28)
7-2-f:6000円	0%(0/28)
問7-3:購入したいと思わない理由(複数回答)	
7-3-a:値段が高いため	10.0%(2/20)
7-3-b:使用する機会が少ないため	90.0%(18/20)
7-3-c:子供が成長してサイズが合わなくなるため	30.0%(6/20)
7-3-d:保管場所がないため	0%(0/20)
7-3-e:好みのデザインがないため	0%(0/20)
問8:釣りや防災用など種類があることを知っているか	
8-a:知っている	50.0%(24/48)
8-b:知らなかった	50.0%(24/48)
問9:海水浴場以外でどのような場面で着用したいか(複数回答)	
9-a:川や湖での水遊び	87.5%(42/48)
9-b:シュノーケリング	83.3%(40/48)
9-c:釣り	33.3%(16/48)
9-d:プール	6.3%(3/48)
9-e:マリンスポーツを行う時	40.0%(19/48)
9-f:水害や津波から身を守る時	22.9%(11/48)

防災用など種類があることを知っているか』では、「8-a:知っている」(50.0%),「8-b:知らない」(50.0%)であった。また『問9:ライフジャケットを海水浴場以外でどのような場面で着用したいか』では、最も多い回答となったのが「9-a:川や湖での水遊び」(87.5%),次いで「9-b:シュノーケリング」(83.3%)であった。レンタルステーションの利用者は、水難が起こりやすい場所<sup>[2]</sup>でライフジャケットを着用したいということが分かった。

#### 参考文献

- [1]日本財団:水辺の事故の現状と分析 PROJECT, [https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploada/2019/01/newpr\\_20180707\\_01.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploada/2019/01/newpr_20180707_01.pdf), 発行日 2018,7,7
- [2]政府広報オンライン:水の事故、山の事故を防いで海、川、山を安全に楽しむために, <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201407/3.html>, 2022.9.15 閲覧